

地域活動シンポジウム開催

平成26年1月25日（土）、市民会館大ホールにて、地域活動シンポジウムが開催されました。

地域活動シンポジウムは、地域の最前線で活動している自治会をはじめとした地域活動団体の役員が、地域活動の実態を共有し、それぞれの団体の地域に果たす役割の重要性を改めて確認する機会として、平成17年から毎年開催しています。

今回は子ども達と地域のつながりについて、2つの事例発表がされました。また、同会場にておだわら地域力市民力表彰式が行われました。



事例発表

1. 早川地区スクールコミュニティと、早川おやじの会・一寸奉仕の活動について

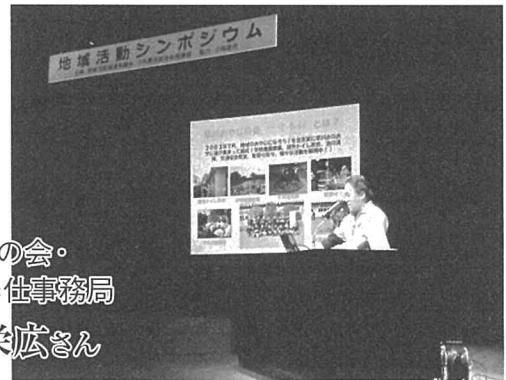


早川地区スクールコミュニティ
実行委員会代表
鈴木 健一郎さん

早川地区スクールコミュニティは、実行委員が連合子ども会役員や、小・中学校のPTA役員経験者で構成され、早川おやじの会・一寸奉仕、体育振興会や老人会など地域の団体と協力してイベントを実施しています。

情報紙「はやかわの絆」は2か月分の予定表を掲載し、小学生に配布、自治会回覧を行っています。

グラウンドゴルフ大会では、子どもからお年寄りまでが参加して各世代の交流が図られました。



早川おやじの会・
一寸奉仕事務局
富樫 栄広さん

早川おやじの会・一寸奉仕は、2003年に「地域のおやじになろう」を合言葉に結成され、これまで、学校農園の整備、屋外トイレの修繕、池の清掃、交通安全教室など様々な活動を展開してきました。結成10周年を迎え、これからも地域の子ども達のために頑張っていきますと発表がありました。



2. 酒匂中学校区DIG(災害図上訓練)研修会について

酒匂中学校では、これまでも、生徒たちが自主的に地域に関わりたいということから、生徒会が中心となり、公園の整備や街頭での赤い羽根募金などを積極的に行ってきました。地域の人達から感謝される、褒められることで、子ども達もさらにやる気を出してがんばっています。

この度、自治会の方を中心に酒匂中学校区でDIG研修を行うことになり、子ども達に夏休みの間、自宅周辺の危険箇所などを調べるという課題を出しました。自分たちが調べたものを地図上に落とし、その地図を実際のDIG研修では使用し、地域の人達といろいろな意見交換をすることができました。子ども達は、地域にお年寄りが多いことなど、自分たちが知らなか



酒匂中学校総括教諭

水野喜代治さん

ったこと、災害時には自分たちにどんなことができるのかなど、新たな視点でものを考えるいい機会となりました。

その後、地域の防災訓練では、DIG研修で使用した地図を生徒たちが説明しにいくなど、地域での活躍の場所が増えていますと発表がありました。

おだわら地域力市民力表彰

市内各地域で交通安全や美化活動などで活躍されている8名と10団体が小田原市から表彰されました。受賞者、受賞団体は以下のとおり（敬称略）。

瀬戸信夫(新玉)、第27区自主防災部(幸)、堀内貞治(十字)、相生クラブ(片浦)、相原淳男(早川)、出野正一(足柄)、小林實(二川)、久野おやじの会(久野)、東富水地区火曜筋トレクラブ(東富水)、さざなみ会(富水)、金次郎のふる里を守る会(桜井)、今屋健一(酒匂・小八幡)、下堀自治会パトロールボランティア(下府中)、南鴨宮文化財保存会(富士見)、守屋良正(豊川)、曾我岸祭囃子保存会(下曾我)、川名薰(国府津)、前羽地区水曜会筋力トレクラブ(橋南)



表彰を受ける川名 薫さん(国府津)

自治会長大会

平成25年10月29日、小田原市自治会長大会が開催され、自治会活動功労者表彰など47名（重複あり）が表彰されました。

記念講演として、内田清さんによる「酒匂川の災害と村役人・農民の対応」が行なわれ、その後「外郎壳の口上研究会」による外郎壳の口上、「すいーと音々」さんによる大正琴の演奏が行われました。

また、次の大会宣言を参加者全員で唱和し、地域の力を高めていくことを再確認いたしました。

- 一 住民・各種団体との連携を強めよう！
- 一 安心安全運動を通じて、明るく住みよい地域にしよう！
- 一 防犯・防災意識の高い地域にしよう！
- 一 環境にやさしい地域をつくろう！
- 一 自治会はすべての地域活動の先頭に立とう！
- 一 自治会加入促進に努めよう！



第48回小田原市自治会長大会

あいさつをする木村秀昭会長

【自治会活動功労者】

1. 通算して6年以上地区自治会長の職にあって退任した者

| 連合名 | 自治会名 | 氏名(敬称略) |
|-------|--------|---------|
| 緑 | 駅前第2区 | 栗田 新市 |
| 緑 | 第3区 | 古屋 正義 |
| 新玉 | 第12区 | 須田 勝次 |
| 片浦 | 石橋 | 中井 英雄 |
| 山王網一色 | 網一色 | 山田 寛 |
| 芦子 | 入谷津 | 山田 義衛 |
| 下府中 | 鴨宮5区 | 勝又 國長 |
| 曾我 | 花里住宅 | 新鹿 勲 |
| 国府津 | 国府津第8区 | 江藤 忠 |
| 片浦 | 根府川 | 會田 高久 |
| 早川 | 木地挽 | 木村 正達 |

| 連合名 | 自治会名 | 氏名(敬称略) |
|--------|----------|---------|
| 富水 | 柳新田 | 松田 悅一 |
| 富水 | 小台 | 井上 勝美 |
| 酒匂・小八幡 | 酒匂8区 | 三廻部洋次郎 |
| 酒匂・小八幡 | 小八幡9区 | 津山 貴嗣 |
| 酒匂・小八幡 | 小八幡10区 | 瀧本 堯 |
| 下府中 | 中里1区-2 | 高橋 直之 |
| 下府中 | 中里2区 | 鈴木 晴夫 |
| 富士見 | 南鴨宮4区 | 早野 格郎 |
| 上府中 | 高田別堀南 | 杉崎 一博 |
| 国府津 | 国府津第14区 | 小島 實 |
| 橘南 | JR前川アパート | 池田 政孝 |

2. 地区自治会長経験者であり、会長、副会長、会計を通算して8年以上在任して退任した者

| 連合名 | 自治会名 | 氏名(敬称略) |
|-----|--------|---------|
| 万年 | 第20-2区 | 佐々木正勝 |
| 十字 | 第32区 | 谷川 公治 |

| 連合名 | 自治会名 | 氏名(敬称略) |
|-----|-------|---------|
| 早川 | 西組 | 青木 捷夫 |
| 東富水 | 蓮正寺第5 | 池谷 勇 |

3. 地区自治会副会長及び会計を通算して10年以上在任し、退任した者

| 連合名 | 自治会名 | 氏名(敬称略) |
|-----|----------|---------|
| 幸 | 第22区 | 久保田一雄 |
| 片浦 | 石橋 | 鈴木 裕章 |
| 足柄 | セントラルハイツ | 長嶋 祥子 |
| 芦子 | 寺町 | 田中總一郎 |
| 久野 | 和留沢 | 杉崎 和男 |

| 連合名 | 自治会名 | 氏名(敬称略) |
|--------|---------|---------|
| 酒匂・小八幡 | 小八幡10区 | 杉山 清 |
| 下府中 | 鴨宮4区-2 | 小嶋 章司 |
| 国府津 | 国府津第8区 | 鈴木 啓一 |
| 国府津 | 国府津第11区 | 笠井 廣久 |

【自治会総連合活動功労者】

1年以上自治会総連合の会長、副会長若しくは会計又は理事若しくは監事の職にあって退任した者

| 連合名 | 自治会名 | 氏名(敬称略) |
|-------|------|---------|
| 片浦 | 石橋 | 中井 英雄 |
| 早川 | 木地挽 | 木村 正達 |
| 山王網一色 | 網一色 | 山田 寛 |

| 連合名 | 自治会名 | 氏名(敬称略) |
|-----|---------|---------|
| 下府中 | 中里2区 | 鈴木 晴夫 |
| 国府津 | 国府津第18区 | 伊澤二三雄 |

【小田原市地域活動功労表彰】

地域活動を顕著に行い、地区自治会の加入の促進に尽力した地区自治会連合会長職8年以上若しくは地区自治会長職12年以上の者

| 連合名 | 自治会名 | 氏名(敬称略) |
|-------|------|---------|
| 富水 | 上清水 | 木村 秀昭 |
| 山王網一色 | 山王松原 | 柳下 達藏 |
| 山王網一色 | 網一色 | 山田 寛 |
| 桜井 | 浅原 | 青木 富雄 |

| 連合名 | 自治会名 | 氏名(敬称略) |
|-----|---------|---------|
| 曾我 | 花里住宅 | 新鹿 勲 |
| 国府津 | 国府津第8区 | 江藤 忠 |
| 国府津 | 国府津第19区 | 小岩 幸雄 |



学校の応援団は地域

小田原市 教育委員会 教育長
栢沼行雄さん

自治会総連合前副会長の栢沼行雄さんが、平成25年10月に、小田原市教育委員会教育長に就任されました。

栢沼教育長にこれからの中学校と自治会について話を伺いました。

これからの中田原の教育に地域や家庭が関わって応援していく、学校、地域、保護者が意見交換できる仕組みを作っていくことを考えています。そのためには、自治会の協力が不可欠です。地域の団体で進めている地域コミュニティなどの取組の力をぜひお借りして、一体となって進めていきたい。

このように、熱心に語っていただきました。

ぜひ、自治会、地域のみなさんでからの学校づくりに協力していきましょう。

全市一斉あいさつ運動について

平成25年11月1日、毎年恒例となっている、全市一斉あいさつ運動を実施し、市内各小中学校の協力を得ながら、多くの方にご参加いただきました。これからも、顔の見える関係づくりのため実施していく予定です。今後もご参加をお願いいたします。



ごみ、きちんと分別していますか？

小田原市の環境政策課ごみ減量推進係です。

今回は、ごみの現状、特に燃せるごみの分別状況のお話をさせていただきます。

市では、ごみ減量推進係と環境事業センターの清掃指導員が中心となり、年に3回ほど、各地区の燃せるごみの分別状況を調査しています。それぞれのパッカー車からごみ袋を20袋ほど抜き出して、袋の中身の分別状況を行っています。その結果の一部が、次の写真です。



これは、燃せるごみの中身です。決して、ペットボトルや古紙の収集後ではありません。

「たまたまそんな袋を抜き出しただけでは？」という考え方もありますが、実際に調査をしている感覚からすると、残念ながらそうではないな、と感じられます。

ペットボトルやトレー・プラスチック容器の収集でも、他のごみの混入が多くなってきています。

カミソリや注射針など、作業する人にとっても危険なものが入っていることもあります。

このような状況を考えると、しっかり分別していただいている皆さんには申し訳ないですが、しっかり分別してくださいと言わざるを得ないです。

でも写真を見て気づいた方もいらっしゃるかと思いますが、この写真の燃せるごみから、ペットボトルや段ボール、紙類を取り除くだけで、大きな減量効果があると思いませんか。しっかり分別ができれば、まだまだごみを減らすことができるということなのです。そう、分別は、燃せるごみを減らすための最善策なのです。

次回は、なぜ分別、減量が必要かというお話をさせていただきます。

※総連合へのご意見・ご要望があれば総連合事務局までお問い合わせください。

編集・発行 小田原市自治会総連合

広報組織部会（部会長）岩切信一郎（部会員）福田光好 斎藤順治 謙原平海 星崎政光 小河純吉
連絡先 自治会総連合事務局（地域政策課）33-1457